

一般社団法人茨城県環境保全協会

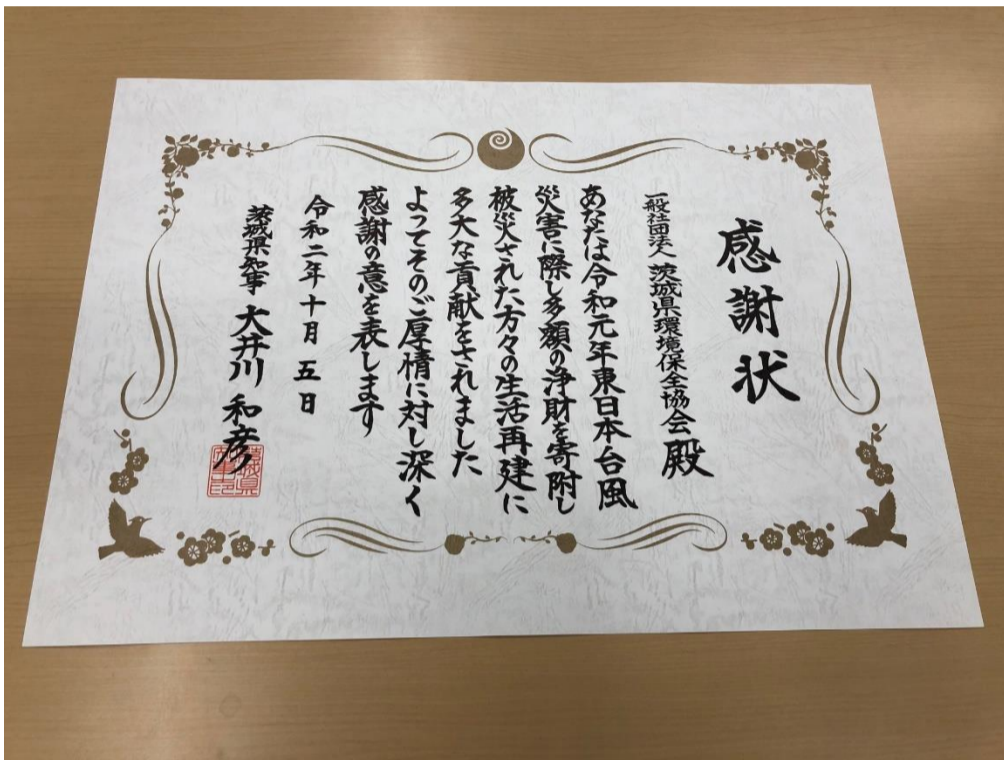
# 協会だより



令和2年度  
第8号（通巻第77号）  
令和2年11月1日発行  
一般社団法人茨城県環境保全協会  
発行担当 広報委員会  
水戸市平須町1825-192 平須ビル202  
TEL 029-303-6007  
FAX 029-303-6008  
URL <http://www.kankyo-ibaraki.com/>  
Mail [info@kankyo-ibaraki.com](mailto:info@kankyo-ibaraki.com)

## 茨城県より感謝状をいただきました

(参考)大子町ボランティア作業実績



作業日	曜日	会社名	運搬量①	運搬量②	計
10月12日	月	東海共同企業	7,500		
		クロサワクリーンサービス	7,500		
計		2台			15,000
10月15日	木	石岡興業	5,200		
		磯原清掃サービス	2,700		
		マカベクリーン	3,600	3,700	
計		4台			15,200
10月16日	金	東海環境サービス	3,700		
		博相社	4,500	3,000	
		石岡興業	5,200		
計		4台			16,400
10月19日	月	セイコー	3,700	3,600	
		水戸環整センター	3,700		
計		3台			11,000
10月20日	火	石岡興業	5,200		
計		1台			5,200
10月21日	水	東海環境サービス	3,700		
		八郷衛生	3,700		
		山本環境開発	3,700		
計		3台			11,100
10月22日	木	石岡興業	3,000		
		八郷衛生	3,700		
		富士企業	3,700		
計		3台			10,400
合計					84,300

当協会では昨年11月に台風被害に対する寄付を茨城県に実施しましたが、この度その功績に対し茨城県からの感謝状が贈られましたのでご報告申し上げます。

通常ですと感謝状授与式が執り行われ、その場で知事より感謝状を受取るのが通例であります。昨今の新型コロナウイルス感染症の状況に鑑み、今回は送達という形での授与になりました。

### 大子町広報誌への掲載

協会では10月に大子町に対し、災

害の復興の一助としていただくために寄付を行いました。この度その時の模様が広報誌に掲載されました。

記事は、同日に同じく寄付を行った東海村環境整備事業協会と共に贈呈式の写真が掲載されました。

### 大子町に対するボランティア活動

現在協会では大子町と契約を締結し、現在稼働を停止している衛生センターから東海村の衛生センターへ汚泥を搬送しておりますが、東海村の衛生センターの定期的なメンテナンス

作業に伴い、一時的に投入が出来なくなるため、大子町において汚泥の仮置きスペースを確保するために大子町衛生センターの貯留槽内に溜まっている汚水を、那珂市にある茨城県の下水道処理施設までボランティアで運

搬を行いました。

この業務はボランティアであり、通常の支援事業に参加していただいている会員企業に無償での参加を呼びかけましたが、多数のご参加をいただき無事に業務を終了することが出来

### 大子町広報誌より

9月15日

## 茨城県環境保全協会・東海村環境整備事業協会 寄附贈呈式

一般社団法人茨城県環境保全協会と東海村環境整備事業協会から、それぞれ30万円の寄附金が贈呈されました。  
頂いた寄附金は、町の事業の財源として大切にさせていただきます。



### 那珂市の県下水道施設への投入作業



（参考）10月度大子町支援業務輸送実績

曜日	会社名	運搬重量(ℓ)
1(木)	山本環境開発	8,000
2(金)	クロサワクリーンサービス	7,500
5(月)	セイコー	3,700
		3,600
6(火)	マカベクリーン	3,700
7(水)	山本環境開発	7,800
8(木)	アミックス	3,700
		3,700
9(金)	石岡興業	5,200
	磯原清掃サービス	2,700
12(月)	マカベクリーン	3,700
	ニヤマクリーンサービス	3,700
13(火)	磯原清掃サービス	2,700
	久松商事管理サービス	3,600
14(水)	玉里クリーン	3,000
	水戸環整センター	3,700
15(木)	玉里クリーン	3,000
	八郷衛生	3,700
16(金)	クロサワクリーンサービス	8,200
19(月)	マカベクリーン	3,700
	八郷衛生	3,700
20(火)	磯原清掃サービス	2,700
	久松商事管理サービス	3,600
21(水)	富士企業	8,600
22(木)	博相社	4,500
		3,000
23(金)	セイコー	3,700
		3,600
26(月)	石岡興業	5,200
	八郷衛生	3,700
27(火)	丸越産業	3,000
	久松商事管理サービス	3,600
28(水)	八郷衛生	3,700
	千代田衛生	3,500
29(木)	富士企業	8,500
30(金)	石岡興業	5,200
	玉里クリーン	3,000
期間合計		165,000

ました。  
参加いただいた会員企業には厚く御礼を申し上げます。

10月度定例役員会の開催

10月21日（水）午前10時より水戸市の茨城県開発公社ビルにおいて定例役員会を開催いたしましたので、当日の協議内容についてご報告いたします。

出席役員

秋山理事長 池田・岡島副理事長 小林 早川 繁藤 石井 犬塚 山村 樋口理事（理事13名中10名出席） 露崎 佐藤監事

協議事項

①災害協定締結特集について（茨城新聞社）

茨城新聞社より茨城県との災害協定を結んだことをより多くの自治体の方や一般読者に周知し、当協会の活動をPRする全面広告をしてはどうかという提案がありました。

紙面の内容等について幅広く役員で協議し、協会会員企業の知名度向上のためにも有効であると思われることから、実施する方向で秋山理事長が茨城新聞社と細かい打合せをすることにしました。

②協会だよりについて

協会だより10月号の内容について広報委員会より提案があり承認されました。県内全ての市町村、県の関係機関に無料配布しています。

報告事項

①大子町災害汚泥支援業務について

大子町の災害汚泥運搬支援業務の9月の実績について事務局より報告がありました。作業前には必ず作業前点検をお願いします。会員の皆様の引続きの協力をお願いします。

②大子町ボランティア運搬事業について

10月12日より延7日間の作業工程で会員企業12社の協力により約84,300リットルの汚泥を、大子町衛生センターから那珂市の下水道の中継ポンプ場に無償にて運搬しました。

③フルハーネス型墜落制止用器具特別教育について

2022年よりフルハーネスが義務化されるのに伴い、法令上必要な「安全衛生特別教育」を10月10日参加者29名、10月31日16名で行いました。県内でも10月に下水道のマンホール

の汚泥を取り除く作業中に、有毒ガスが原因とは思われますが、マンホール内に転落しての死亡事故がおきています。作業上、必要な会員企業の方で受講がまだな方は事務局にご相談下さい。

以上の内容で役員会を行い、正午近くに終了しました。

大子町支援業務について

今年4月より始まった大子町支援業務ですが、10月を終了した時点で、近隣の会員企業18社により、延べ248台、約1,061キロリットルの運搬が終了いたしました。

現在の契約は来年3月まで続きますので、引き続きよろしくお祈いします。

新型コロナウイルス予防について

一時ある程度流行の抑え込みに成功していたかに思えた新型コロナウイルス感染症ですが、気温が低下してきた最近になって、再び流行の兆しを見せており、東京や大阪、札幌などの大都市圏ばかりでなく、茨城県内においても過去最高の1日当たり陽性検出者が出てしまっている状況です。

これから冬を迎えるにあたり、より一層の感染防止策を講じなければならず、また、年末に際し家庭以外での飲食の機会も増える中で、新型コロナウイルス感染症対策分科会から政府に対し、感染リスクが高まる「5つの場面」と「感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫」という提言がなされておりますのでご紹介いたします。（これ以下は、下のイラストも含めて、新型コロナウイルス感染症対策分科

会HPからの引用です）

緊急事態宣言を解除後、ほぼ半年が経過しようとしている。今冬を

しっかり乗り越えるためには、これまでの対策について評価することが必要である。

（中略）

飲酒を伴う会食においてクラスターの発症が多く見られていることから、「感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫」を取りまとめた。

政府においては、「感染リスクが高まる5つの場面」及び「感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫」を、国民・社会に幅広く伝えるよう発信して頂きたい。（引用以上）

下の「5つの場面」を参考に、各自で感染を防ぎながら年末を迎え、来年こそ明るい1年になるように頑張りましょう！

新型コロナウイルス感染症対策分科会HPより

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で注意力が低下する。また、聴覚が鈍磨し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用は感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、例えば深夜のはしご酒では、昼間の通常の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- また大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話することで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼ラオクや野外のバーベキューでの事例が確認されている。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用施設での事例が確認されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での事例が確認されている。車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。

